

経済教育ネットワーク・講演会

「経済学とは—中高生に何を教えるか」

講師：ウィリアム・コマナー（カリフォルニア大学ロサンゼルス校教授）

要旨：経済学は限られた資源の制約がある場合にすべて利用できる手法であり、私たちの決定のすべては色々な制約のもとでなされているので、いつでも経済学が応用できる。また私たちは自分の欲求にしたがって行動するが、そのような行動から得られる満足度がそれにともなうコストに見合うかどうかを考える必要がある。そのような経済学的な発想のもとで、社会にとってより無駄の少ない状況を作り出していくような政策を考えるのが経済学の目的である。

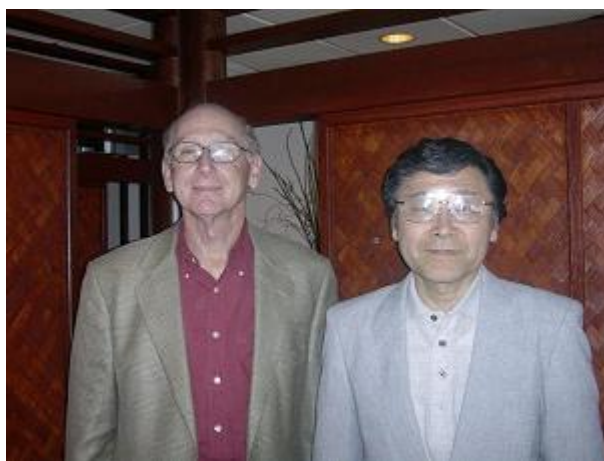
通訳と討論参加：宮尾尊弘（筑波大学名誉教授、南カリフォルニア大学客員教授）

日時：2010年9月14日（火）、19:00—20:00

場所：日本大学経済学部 7号館 13階会議室 3（東京都千代田区三崎町 2-8）

参考：コマナー教授のインタビュー要旨が、以下のブログに掲載されています。

経済教育インタビューシリーズ：ウィリアム・コマナー教授とのインタビュー



コマナー教授と宮尾教授

2007年12月29日にインタビューしたコマナー教授は、米国で長年経済学を教えた経験に基いて、経済教育について色々な意見を述べられた。要旨は以下を参照：
<http://miyao-blog.blog.so-net.ne.jp/2007-02-01>.